

「生体電磁環境に関する研究戦略検討会」開催要綱（案）

1 目的

近年、第5世代移動通信サービス(5G)やInternet of Things (IoT)、ワイヤレス電力伝送(WPT)など、電波を利用した新たなサービスが登場しつつあり、今後の技術開発の進展によって更に社会・経済活動を飛躍的に向上させるサービスが創出されることが期待されている。このように、国民生活において電波の利用がより一層拡大するとともに、利用形態が多様化することが見込まれ、人体に対する電波の安全性の確保がますます重要となる。

こうした動向を踏まえ、過去 20 年間程度の生体電磁環境に関する研究動向等を分析の上、2040 年頃までを見据えた、電波の安全性に関する中長期的な研究のあり方について検討を行うため、本検討会を開催する。

2 名称

本検討会は、「生体電磁環境に関する研究戦略検討会」と称する。

3 検討事項

- (1) 生体電磁環境に関する研究動向等の分析
- (2) 生体電磁環境に関する研究の中長期的な戦略やロードマップのあり方
- (3) その他

4 構成及び運営

- (1) 本検討会の構成員は、別紙のとおりとする。
- (2) 本検討会には、座長及び座長代理を置く。
- (3) 座長は、本検討会を招集し、運営する。また、座長代理は、座長を補佐し、座長不在のときは、座長に代わって本検討会を招集し、運営する。
- (4) 座長は、必要に応じて、構成員以外の関係者の出席を求め、その意見を聴くことができる。
- (5) その他、本検討会の運営に必要な事項は、座長が定めるところによる。

5 議事・資料等の扱い

- (1) 本検討会は、原則として公開とする。ただし、座長が必要と認める場合については、非公開とする。
- (2) 本検討会で使用した資料及び議事要旨は、原則として、総務省のウェブサイトに掲載し、公開する。ただし、公開することにより、当事者若しくは第三者の利益を害するおそれがある場合又は座長が必要と認める場合については、非公開とする。

6 スケジュール

本検討会は、平成 30 年 1 月から開催する。

7 その他

本検討会の庶務は、総務省総合通信基盤局電波部電波環境課がこれを行うものとする。

「生体電磁環境に関する研究戦略検討会」
構成員

(50音順、敬称略)

	今井田 克己	香川大学 医学部腫瘍病理学 教授
(座長)	上野 照剛	東京大学 名誉教授
(座長代理)	大久保 千代次	一般財団法人電気安全環境研究所 電磁界情報センター所長
	高口 鉄平	静岡大学 学術院情報学領域 准教授
	澤谷 邦男	東北大学 産学連携機構イノベーション戦略推進センター 特任教授
	中村 秀治	三菱総合研究所 参与 営業本部長
	飛田 恵理子	特定非営利活動法人東京都地域婦人団体連盟 理事
	廣川 二郎	東京工業大学工学院 教授
	藤井 威生	電気通信大学 先端ワイヤレス・コミュニケーション研究センター 教授
	藤原 修	電気通信大学 産学官連携センター客員教授 / 名古屋工業大学 名誉教授
	山根 香織	主婦連合会 参与
	渡邊 昌	公益社団法人生命科学振興会 理事長